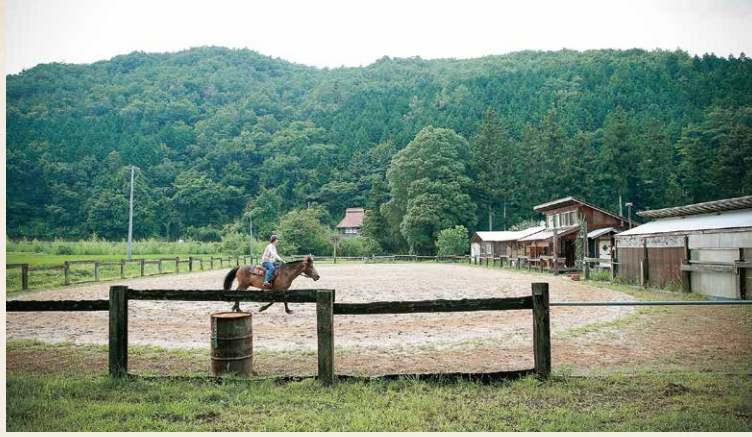




竹内 拓郎・直美

エオの谷 North Sigle 「ホースセラピー施設経営」



地域の方がシヨベルカーでならしてくれた馬場。仕事終わりにやってきてはビール一本で快く手伝ってくれた。



●エオの谷 North Sigle

安芸高田市美土里町北3305 ☎0826-55-0414(予約制)
<http://eohnotani.p1.bindsite.jp>

無理せず一生続けられることを。

たけうち・たくろう

広島県・作木村(現・三次市)出身。障害馬術の選手として各地を転戦する中、香川県の乗馬クラブを拠点としていた頃に直美さんと出会う。馬と付き合う内に装蹄を覚え、その経験を活かし蹄鉄細工をはじめとしたオリジナルアクセサリー作りも行う。馬のフィジカル面を担当。

たけうち・なおみ

香川県高松市出身。元保育士。子供の頃から馬に強い憧れを抱いていたが、一時封印したまま成長する。大人になって馬への想いが再燃、赴いた乗馬クラブで拓郎さんと出会う。馬本来の在り方を追究しホースセラピー施設を開設。メンタル面のケアを担当する。



元

々乗馬競技の選手だったご主人と、前世が馬だったのではないかと(笑)というほど馬と通じ合う奥様が、馬との触れ合いを通じて心を整えるホースセラピー施設を始めて10年。この地を選んだのは美土里町という地名が気に入ったことが理由だった。

とはいえ、動物のいる施設をつくるのは簡単ではないはず。どのようにして開業に至ったのか、その経緯を伺ってみました。

開業までの経緯は?

「引越してきた当初はアパート住まいで知り合いもいませんでした。ただ息子が転校生ということもあって、先生方が気を使ってくださり生活のことなど心配しているいろいろ相談に乗ってくれて」。1クラス20数名の規模の小ささや田舎ならではの情の厚さも手伝い、先生とはほどなく気軽に話せる間柄になった。その後、当時勤務していた乗馬クラブから学校のイベントに馬を連れていったりするようになり、先生方のサポートの下、徐々に地域に馴染んでいくこととなった。

近所付き合いは?

部活動も近所付き合いも経験がなく、酒もタバコもやらないご主人は当初集落での人付き合いに不安もあったという。しかし近所の方に言われるがままとにかく集まりに参加する内に、徐々に顔を覚えてもらえるようになった。わからないなりに役もこなし、今では馬糞を堆肥として使ってもらえるようになり、地域に貢献できるようになったことを喜んでいいる。

移住のコツを教えてください。

「何をするにしても相手は人間。気持ちは通じるから、想いがあることはやって欲しいな」と直美さん。

「せっかく移ってきた人が出て行ってしまふのは地域も残念です。だから一生続けられるようなことをして欲しい。好きなことを無理せずに。でも命さえあれば大抵の事はできると思いますが。こんな僕でもなんとかやっていますから」と拓郎さん。

ずっと続けたいものは何か? :心の奥にある想いを自らに問いかけたい。